

経営比較分析表（令和3年度決算）

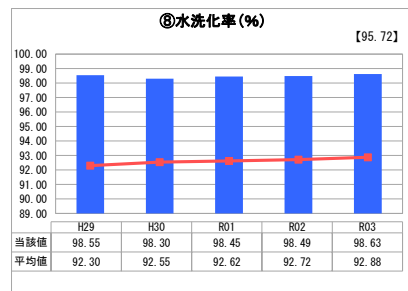
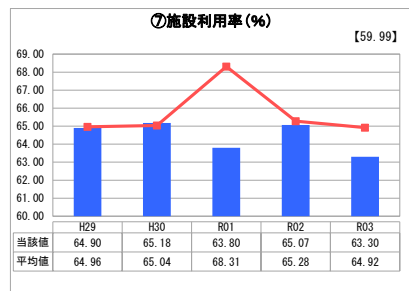
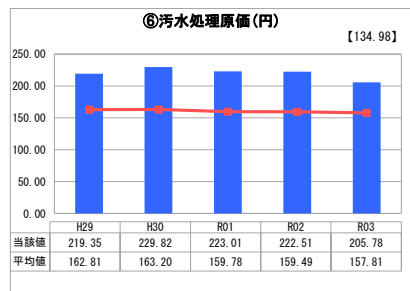
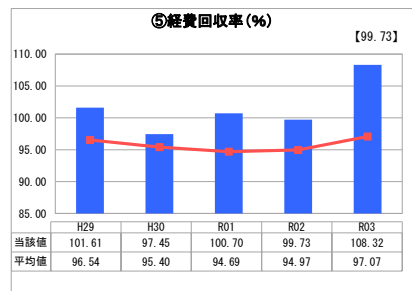
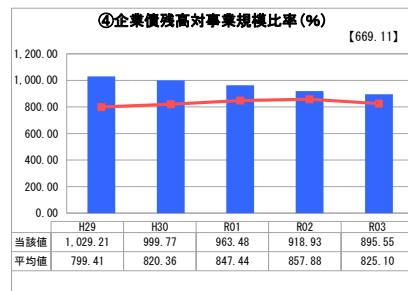
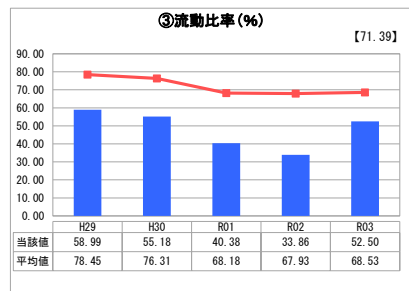
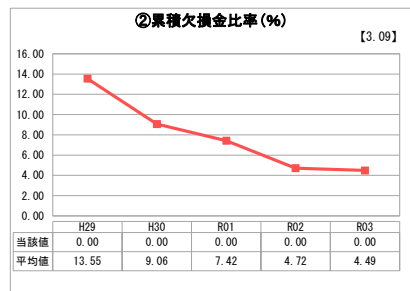
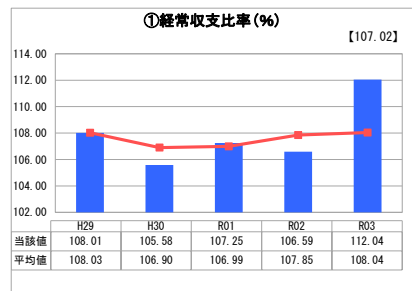
長野県 塩尻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.76	77.71	80.14	3,980

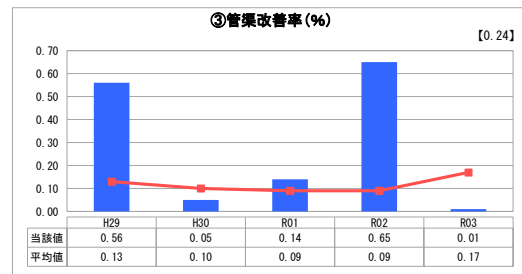
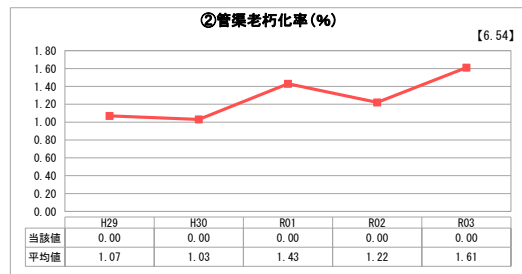
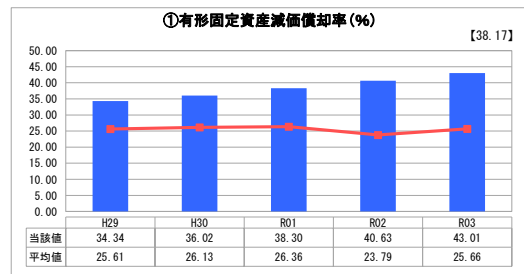
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
66,329	289.98	228.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
51,388	14.01	3,667.95

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。令和3年度では3条線入金の増加や営業費用の減少により改善しました。
 ② 累積欠損比率は0%で、欠損金はありません。
 ③ 流動比率は100%を超えておらず、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。流動資産は、平成30年度以降、資金残高の減少に伴い現金預金の減額となっていました。令和3年度は経常収支の改善に伴い増加しました。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均よりも上回っています。企業債残高は毎年度減少しているため、数値は減少しています。
 ⑤ 経費回収率は、経常収支の改善に伴い100%を上回り、類似団体平均を上回っています。しかし、今後、下水道使用料の減収が見込まれるなか、施設の更新等に充てるための資金は減少傾向にあるため、更なる経費削減や経営の効率化が必要です。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均よりも上回っています。汚水処理費の一部に公費負担分を充当していますが、⑤ 経費回収率と併せて考慮すると、他団体に比べ公費負担率が少ない傾向です。今後、老朽化に伴う管渠等の修繕費や維持管理費の増加により数値が高まることが考えられるため、費用の効率化等に取り組みます。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。施設の規模の適正化や機能の抑制を検討し、施設利用率の向上に努めます。
 ⑧ 水洗化率は98%を超え、類似団体平均を上回り、高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均よりも上回っています。数値は、毎年度上昇し、保有資産の老朽化が進んでいることを示しています。
 ② 管渠老朽化率は0%で、法定耐用年数を経過する管渠はありません。
 ③ 管渠改善率は、平成29年度、令和2年度は、事前調査結果に基づき管更生工事を集中的に行い、計画的に施設の長寿命化に取り組んでいます。令和3年度は主に事前調査を実施したため、減少しています。

現在、管渠については老朽化を示す状況ではありませんが、今後5年以内に法定耐用年数を経過する管渠が出てくることから、ストックマネジメント計画に基づき、管更生工事等を進めていきます。

全体総括

今後の下水道事業経営にあたっては、水洗化率の大幅な向上が見込めないなか、人口が減少することから、下水道使用料は減収となっていくことが予想されます。
 一方、施設の老朽化に伴う更新投資の増大、被災時の下水道機能の確保や災害防止の取り組みの強化のため、多額の投資が必要となります。
 投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。